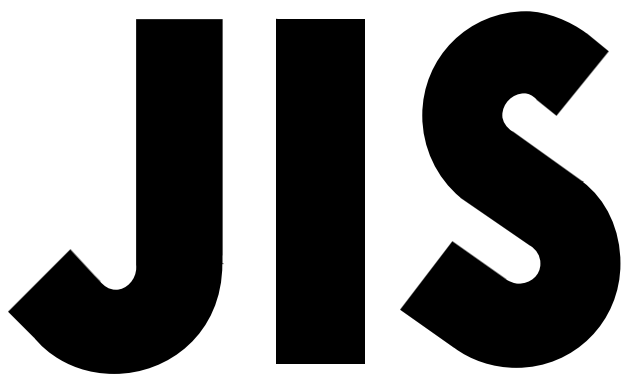




水輸送用塗覆装鋼管—
第 3 部：長寿命形外面プラスチック被覆

JIS G 3443-3 : 2020

(WSP/JSA)

令和 2 年 5 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒 井 信 介	横浜国立大学
	(委員) 伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	宇 治 公 隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大 石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	鎌 田 実	東京大学
	木 村 一 弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木 村 たま代	主婦連合会
	佐 伯 誠 治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐 伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高 増 潔	東京大学
	千 葉 光 一	関西学院大学
	寺 澤 富 雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈 良 広 一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西 江 勇 二	一般財団法人研友社
	福 田 泰 和	一般財団法人日本規格協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	楨 徹 雄	東京都市大学
	棟 近 雅 彦	早稲田大学
	村 垣 善 浩	東京女子医科大学
	山 田 陽 滋	名古屋大学
	山 内 正 剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線 医学総合研究所
	和 辻 健 二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 19.2.20 改正：令和 2.5.20

官 報 掲 載 日：令和 2.5.20

原 案 作 成 者：日本水道鋼管協会

(〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-9 日本水道会館 TEL 03-3264-1855)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 長寿命形プラスチック被覆の種類及び種類の記号	3
5 長寿命形プラスチック被覆材料	3
6 長寿命形プラスチック被覆の被覆方法	3
6.1 ポリウレタンの被覆方法	3
6.2 ポリエチレンの被覆方法	4
7 長寿命形プラスチック被覆に対する要求事項	4
7.1 外観	4
7.2 被覆厚さ	5
7.3 管端末被覆長さ	5
7.4 被覆の性能	5
8 試験方法	6
8.1 一般	6
8.2 外観試験	6
8.3 被覆厚さ試験	6
8.4 管端末被覆長さ試験	6
8.5 ピンホール試験	7
8.6 付着性試験	7
8.7 接着性試験	7
8.8 プルオフ付着強度試験	7
8.9 ピール強度試験	7
8.10 耐衝撃性試験	7
8.11 押込み深さ試験	7
8.12 引張破壊呼びひずみ試験	7
8.13 耐曲げ性試験	7
8.14 耐陰極剥離性試験	7
8.15 耐熱水浸せき性試験	7
9 検査	8
9.1 外観検査	8
9.2 被覆厚さ検査	8
9.3 管端末被覆長さ検査	8
9.4 ピンホール検査	8
9.5 付着性検査	8

	ページ
9.6 接着性検査	8
9.7 被覆性能（形式試験）の検査	8
9.8 再検査	8
10 表示	9
11 報告	9
附属書 A（規定）ポリウレタン被覆材料	10
附属書 B（規定）ポリウレタン用プライマー	14
附属書 C（規定）ポリエチレン被覆材料	17
附属書 D（規定）ポリウレタン被覆の性能試験方法	20
附属書 E（参考）現場溶接部用被覆（ジョイントコート）	26
解 説	34

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本水道鋼管協会（WSP）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS G 3443-3:2014** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS G 3443 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS G 3443-1 第 1 部：直管

JIS G 3443-2 第 2 部：異形管

JIS G 3443-3 第 3 部：長寿命形外面プラスチック被覆

JIS G 3443-4 第 4 部：内面エポキシ樹脂塗装

白 紙

水輸送用塗覆装鋼管— 第 3 部：長寿命形外面プラスチック被覆

Coated steel pipes for water service— Part 3: Long-life external plastic coatings

1 適用範囲

この規格は、主に上水道、下水道、工業用水道及び農業用水路に使用する水輸送用塗覆装鋼管の原管外面に施す長寿命形プラスチック被覆について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0601 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

JIS B 7503 ダイヤルゲージ

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材

JIS G 3141 冷間圧延鋼板及び鋼帯

JIS G 3443-1 水輸送用塗覆装鋼管—第 1 部：直管

JIS G 3443-2 水輸送用塗覆装鋼管—第 2 部：異形管

JIS G 3477-1 ポリエチレン被覆鋼管—第 1 部：外面 3 層ポリエチレン押出被覆鋼管

JIS H 8300 亜鉛、アルミニウム及びそれらの合金溶射

JIS K 5500 塗料用語

JIS K 5600-1-1 塗料一般試験方法—第 1 部：通則—第 1 節：試験一般（条件及び方法）

JIS K 5600-1-2 塗料一般試験方法—第 1 部：通則—第 2 節：サンプリング

JIS K 5600-1-4 塗料一般試験方法—第 1 部：通則—第 4 節：試験用標準試験板

JIS K 5600-3-4 塗料一般試験方法—第 3 部：塗膜の形成機能—第 4 節：製品と被塗装面との適合性

JIS K 5600-5-7 塗料一般試験方法—第 5 部：塗膜の機械的性質—第 7 節：付着性（プルオフ法）

JIS K 5601-1-2 塗料成分試験方法—第 1 部：通則—第 2 節：加熱残分

JIS K 6761 一般用ポリエチレン管

JIS K 6900 プラスチック—用語

JIS K 6922-2 プラスチック—ポリエチレン（PE）成形用及び押出用材料—第 2 部：試験片の作製方法及び特性の求め方

JIS K 7112 プラスチック—非発泡プラスチックの密度及び比重の測定方法